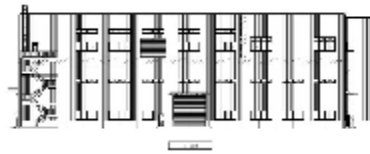


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社エヌティーシー 第2ビル	階数	地上2F
建設地	貝塚市二色北町	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	20人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年4月 予定	評価の実施日	2019年8月23日
敷地面積	17,020 m ²	作成者	大石 明浩
建築面積	1,445 m ²	確認日	2019年8月23日
延床面積	2,822 m ²	確認者	大石 明浩



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	86%
③上記+②以外の	86%
④上記+	86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	熱環境	光・視環境	空気質環境
N.A.	N.A.	N.A.	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性	耐用性	対応性
N.A.	2.8	3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

生物環境	まちなみ	地域性・
1.0	2.0	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

建物外皮の	自然エネ	設備システ	効率的
5.0	3.0	3.5	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	非再生材料の	汚染物質
3.4	3.1	3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

地球温暖化	地域環境	周辺環境
3.5	2.3	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
断熱性の高い屋根、外壁を選定し、各種消費エネルギーの低減を目指した		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
高効率、高能力の空調設備により、室内環境の向上を目指した	階高を3.9m以上とし空間のゆとりを確保した	緑地(芝生等)を配置している
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱性能の高い屋根、外壁を選定し、消費電力の低いLED照明器具を選定	再生骨材の利用(路盤生成、基礎下砕石利用)	断熱性能の高い外壁を使用し、空調の使用を抑え、CO ₂ 排出を抑える

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0077

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)株式会社エヌティーシー 第2倉庫 新築工事						
		建設地	貝塚市二色北町						
		用途/区分	工場 事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-			
①	CO2削減					4			
②	みどり・ヒート アイランド対策					2			
③	建物の断熱性					5			
④	エネルギー削減					4			
⑤	自然エネルギー直接利用					—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						報告しない			
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.5	4		
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.5	4		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない		
その他									
		技術の名称			考慮事項				
先進的技術の導入									
特に配慮した事項									